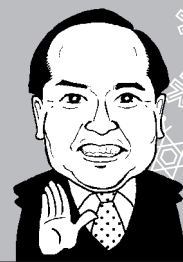


# 先憂後楽



『先憂後楽』とは、「国の大事については、世の人々に先立って憂い、そして国がよく治まり人民が楽しんでいるのを見届けてから初めて自分も楽しむ」という意味です。  
(題字揮毫 故 林田悠紀夫先生)

2007.12 第29回 府政報告 多賀久雄事務所  
〒626-0008 京都府宮津市万年895-8 TEL(0772)22-6335 FAX(0772)22-6335  
<http://www.tango.or.jp/taga/> E-mail: taga@tango.or.jp

## みんなで創ろう！輝くふるさと



宮津高等学校美術部壁画完成式 平成19年11月18日

皆さんには、お元気でご活躍のことと存じます。

さて、いつものことではありますが、国会議員の疑惑のみが大きく報道されることから、あたかも、国政は動いていないのではないかと心配される方もおられると存じます。確かに、衆参ねじれの中で、法案が次々に成立していくというのは難しいかも知れませんが、「被災者生活支援法の一部を改正する法律」の成立をはじめ、来年度予算や来年度以降の各種施策の制度設計など、当然ながら国政は動き続けております。府政も同じでありまして、知事サイドからの発表は別にして、我々議員の活動は、府議会開会中ですらあまり報道がされません。

そこで今号では、府議会としての意思を政府に伝え、政策に反映できる手段の一つであります意見書の威力についてご報告したいと思います。

### その1 出資法及び貸金業規制法の改正を求める意見書

平成18年7月、政府に提出したこの意見書は、消費者金融、信販会社、商工ローン等の貸金業者の多くが、法律の隙間をかいくぐり、年29.2%よりは低いけれども、利息の制限(年15~20%)

より高い「グレーゾーン金利」といわれる高金利で貸し付けている実態があるので、深刻な社会問題となっている多重債務の未然防止と消費者保護の観点から、政府に対し、適正な金利規制等を求めたものであります。

政府では、こうした地方議会の意見も踏まえ、平成18年12月関連の法律改正を行い、出資法の上限金利を20%に引下げ、これを越える場合は刑事罰「みなし弁済」制度の廃止、日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例の廃止などの改正を行いました。

さて、グレーゾーン金利に疑問を持たず、利息の制限で計算し直すと既に借金は完済しているところか、おつりがくる方もあるようではありますが、残念ながら、大半が返還を求めているようであります。皆さんの周りにそういう方がおられましたら、すぐ弁護士に相談されるようお勧め下さい。

### その2 中小企業の事業承継円滑化のための税制措置等に関する意見書

平成19年10月、政府に提出したこの意見書は、中小企業の経営を承継するというよりも、家業が親から子へと引き継がれるという説明の方が分かりよいと思いますが、家業を引き継ぐ段階において発生する、相続税の負担などにより、やむなく家業の存続をあきらめるということが起こっており、伝統産業をはじめ代々引き継がれてきた家業を守り、そこに勤める方の雇用も守るという観点から、政府に対し、税制面、法制面、金融面など総合的な事業承継支援を求めたものであります。

これが届く頃には方針が出ているかも知れませんが、政府や自民党の税制調査会では、こうした地方議会の意見も踏まえ、5年間ぐらいの事業継続を義務づけ、8割以上の従業員を雇い続けることなどを条件に、承継される非上場の株式課税価格を8割軽減する方向で検討が進められております。

### 三二知識

#### 主要国の事業承継税制

国名	非上場株式の減額割合	優遇適用の条件
日本	10%	申告期限までの継続保有
フランス	75%	5年以上の事業継続
ドイツ	35%	5年の継続保有
イギリス	100%	2年前から継続保有

## 多様な議員活動

平成16年の12月議会で、「犯罪のない安心・安全なまちづくり条例」という条例を議員提案で創りましたが、議員の任務の一つに政策提案があります。そのため、いろんな勉強会に参加したりして自己研鑽に努めているのですが、近畿の議員が集まってテーマ毎に意見交換する機会が年一回あります。その意見交換が契機となり、昨年8月、各府県の行政と連携し、東アジアを中心とした観光、集客の拡大によって、関西経済の活性化、関西の新しい興隆を目指して、関西観光振興議員連盟が結成されました。今年度の活動は、勉強会、ジャパン・クルーズ・シンポジウムへの参加、台湾の訪日旅行市場調査などであります。

勉強会は、京都が会場地となり、9月3日に行われ、私はインバウンド・プロモーション（外国人観光客の誘致）の分科会に参加し、アジア主要国の訪日旅行市場動向などを学びました。私は、台湾からの訪日教育旅行（修学旅行）のお手伝いをしたことでもありますので、アジア主要国、特に中国、韓国、台湾で、訪日教育旅行への注目度が高まっているという話を、大変興味深く感じました。

こうした活動のほかに、各府県議会の意向を代表する形で議員が集まり、関西振興に関する統一議員提案条例を検討してみてもどうかという声もあり、どういう形で進めていくのかという議論が進められることになっており、京都府議会では私が代表することになっております。



関西観光振興議員連盟勉強会



長野県子供病院・院内学級生宮越由貴奈さんの「命」の前で

## 防災の備えはできているか

平成16年の台風23号の爪痕もようやく消えかけてまいりましたが、その記憶や教訓を風化させてはならないと思っているのは、皆さんも同じではないでしょうか。そうした上で、天災による被害を最小限に止めるために、河川改修など発生予防のための整備、防災行政無線など情報伝達のための整備、避難所の耐震化など避難・援護の体制の整備、洪水ハザードマップなど住民の危険認知度を高めるための整備などを進めなければなりません。

そこで、現時点での防災の備えはどの程度かという点、

**発生予防のための整備** 府が管理する河川の中で、時間雨量50mmに対応できる整備が完了した区間は約34%で、府にある8,847の土石流等土砂災害危険箇所のうち、人家5戸以上もしくは公共施設等が存在する箇所は約3,700で、うち約550箇所が整備済み

**情報伝達のための整備** 府内全26団体で整備済み、うち防災行政無線によるもの23団体、有線放送等によるもの3団体

**避難・援護の体制の整備** 防災拠点の耐震化率は、府内の平均は62.8%で、これを上回るのは8団体、下回るのは18団体で、障害者などの災害時要配慮者の名簿を保有しているのは、22団体

**危険認知度を高めるための整備** 防災マップは府内全26団体、ハザードマップは、地震が2、洪水が20、土砂が17団体で整備済み

となっており、防災拠点の耐震化率は全国平均を若干上回るなど、整備は着々と進んでいるというものの、まだまだ課題は残っており、加えて全ての団体が財政難、議会の任務も重大であります。

さて、皆さん、防災に関心がありますか・防災訓練には進んで参加していますか・地域の危険な箇所を知っていますか・危険な場所での前兆現象を知っていますか・避難する場所までの比較的安全なルートを知っていますか・・・・思いつくまま自己点検してください。



宮津市防災のつどい

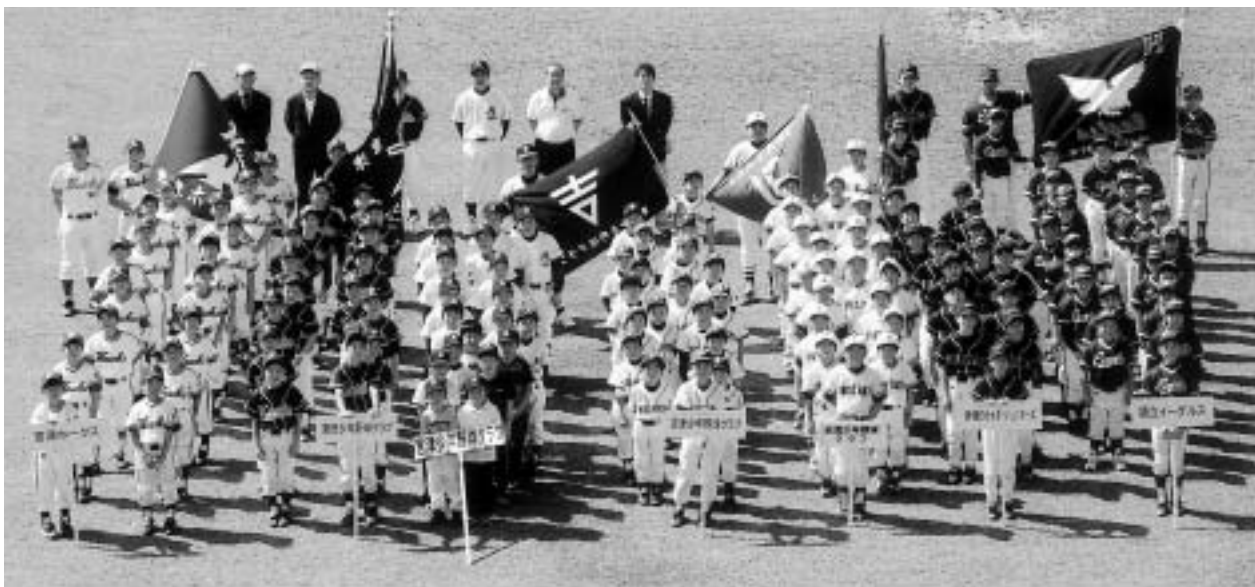
## 林田先生の死を悼む

去る11月11日、林田悠紀夫先生がお亡くなりになりました。

私も、自民党議員団の代表幹事として、また、先憂後楽の題字を揮毫いただいたというご恩もあり、お葬式に参列をし、心からの弔意を表してまいりました。

先憂後楽をお送りするたびに、心温まるお礼状をいただいておりますが、もうそれでもできない寂しさを感じております。

ここに改めまして、長年にわたるご功績に対しまして、深い敬意と感謝の誠を捧げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。



第二回 夢・星野仙一杯学童野球大会 平成19年6月2日



2007年11月25日 与謝地方バレーボール協会創立50周年記念式典

### 雑感

雨降りによる自然水害が各地で起こり、過去に台風23号による北部の災害も記憶に新しいところです。これは地球温暖化の進行の大きな起因の一つではないでしょうか？地球を蝕む自然災害の発生は人道的な要員で起こり又それを食い止めるには人の手によるものではないでしょうか？そういった中、天橋立を取り巻く景観法が府で検討され又、宮津市は世界遺産登録を志しています。

このように環境保全を守る、一つ一つを推進していく事と最も重要なのは我々自身の自己意識が、地球を守り、如いては我々の生活が安全に保障されて行く事ではないでしょうか？

編集部より